



【副総裁】

雨宮正佳

[あまみや・まさよし]
昭和30年9月30日生
出身地 東京都

- 昭和 54.3 東京大学経済学部卒業
54.4 日本銀行入行
平成 10.4 企画室企画第2課長
10.7 金融市場局金融市場課長
11.5 企画室企画第1課長
13.4 企画室参事役
14.6 考査局参事役
16.7 政策委員会室審議役（組織運営調整）
18.4 企画局長
22.6 日本銀行理事
24.5 日本銀行理事 大阪支店長囑託
25.3 日本銀行理事 大阪支店長囑託を解く
26.6 日本銀行理事<再任>
30.3 日本銀行副総裁
-



【副総裁】

若田部昌澄

[わかたべ・まさずみ]
昭和40年2月26日生
出身地 神奈川県

- 昭和 62.3 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
平成 2.3 早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了
3.4 早稲田大学政治経済学部助手
6.6 トロント大学経済学大学院修士課程修了
10.3 早稲田大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学
10.4 早稲田大学政治経済学部専任講師
12.4 早稲田大学政治経済学部助教授
14.8 トロント大学経済学大学院博士課程単位取得退学
17.4 早稲田大学政治経済学術院教授
29.3 コロンビア大学経営大学院日本経済経営研究所客員研究員
30.3 日本銀行副総裁



【総裁】

黒田東彦

[くろだ・はるひこ]
昭和19年10月25日生
出身地 福岡県

- 昭和 42.3 東京大学法学部卒業
42.4 大蔵省入省
62.7 大蔵省国際金融局国際機構課長
63.12 大蔵大臣秘書官事務取扱
平成 1.8 大蔵省主税局国際租税課長
2.7 大蔵省主税局税制第一課長
3.6 大蔵省主税局総務課長
5.7 国税庁大阪国税局長
6.7 大蔵省大臣官房審議官
(国際金融局担当)
8.7 大蔵省財政金融研究所長
9.7 大蔵省国際金融局長
10.6 大蔵省国際局長
11.7 財務官
15.3 内閣官房参与
15.7 内閣官房参与
一橋大学大学院経済学研究科教授
17.2 アジア開発銀行総裁
25.3 日本銀行総裁
25.4 日本銀行総裁<再任>
30.4 日本銀行総裁<再任>

日本銀行の総裁再任、副総裁就任

▼日本銀行の黒田総裁が再任され、雨宮副総裁・若田部副総裁が就任しました。

大分支店が開設七〇周年記念企画展を開催

▼大分支店では、支店開設七〇周年を記念して、大分県出身の四名の歴代総裁（山本達雄、井上準之助、一萬田尚登^{いちまだひさと}、三重野康）にスポットを当てた企画展「大分出身の日銀総裁〜日銀大分を築いた男たち〜」を三月十四、十五日に開催しました。



大分県出身の総裁による直筆の書などを展示

▼企画展では、事前に各総裁の出身地を訪れ、縁故のある方々

から伺ったエピソードなどをご説明しました。また、遺品等をお借りして展示し、総裁の功績とともに生い立ちなど身近な一面もご紹介しました。

▼見学者の方々からは「日銀総裁を身近に感じた」「同じ大分県民として誇らしい」などの感想が寄せられ大変好評でした。

第一九回情報セキュリティ・シンポジウムを開催

▼金融研究所情報技術研究センター（CITECS）では、三月一日に「量子コンピュータが金融サービスのセキュリティに与える影響」と題する情報セキュリティ・シンポジウムを開催しました。金融機関等から約一二〇名が参加しました。

▼今回は、金融分野でも量子コンピュータへの関心が高まりつつあることを踏まえ、その開発動向や金融サービスへの影響について取り上げました。金融研



パネルディスカッションの様相（撮影：野瀬勝一）

究所スタッフや外部有識者による講演やパネルディスカッションが行われ、活発な議論が展開されました。（Webページアドレスは <https://www.imes.boj.or.jp/citecs/symp/19/>）

ファイナンス・ワークショップを開催

▼金融研究所では、三月五日に、金融市場や中央銀行業務におい

て重要性を増している「ビッグデータと人工知能を用いたファイナンス研究の展開」をテーマとしたワークショップを開催しました。参加者数は、研究者・実務家を中心に約八〇人になりました。

▼白塚重典^{しらかげのり}所長による開会挨拶に続いて、東京大学・和泉潔教授によるキーノートスピーチが行われた後、三本の研究論文



ファイナンス・ワークショップの様子

が報告され、参加者の間で活発な議論が行われました。金融研究所では、今後もこうした最新のファイナンス研究に関するワークショップを開催していきたいと考えています。

国際コンファランスを開催

▼一九八三年以来、日本銀行は、金融研究所において国内外の著名な経済学者や中央銀行関係者を招いた国際コン



ラジアン教授と黒田総裁（撮影：野瀬勝二）

ファランスを開催しています。今年、「Central Banking in a Changing World」（変貌する世界における中央銀行の政策・業務の実践）をテーマとして、五月三十日、三十一日に開催しました。

▼黒田東彦総裁による開会挨拶に続いて、シカゴ大学ラダラム・ラジアン教授による前川講演が行われた後、参加者間でテーマに基づく活発な議論が展開されました。日本銀行では、今後も国際コンファランスを通じて、中央銀行の政策と業務の実践に関する知見を深めていきたいと思います。

日本銀行のホームページにダイバーシティへの取組みについてのページを新設

▼日本銀行は、二月二十六日、日本銀行ホームページに、ダイバーシティ推進にかかる施策等

ダイバーシティの取組みについてのページ
<http://www.boj.or.jp/about/diversity/index.htm/>

をまとめたページ（「ダイバーシティへの取組み」）を新たに開設しました。

▼同ページでは、日本銀行のダイバーシティに向けたこれまでの取組みや育児・介護と仕事の両立支援制度、働き方改革推進施策等を紹介しています。次世代育成支援対策推進法や女性活躍推進法に基づく行動計画についても掲載しており、今後の取

組みについてもご確認いただけます。

▼日本銀行は、今後ともダイバーシティ推進に関する取組みを進めるとともに、同ページを拡充してまいります。

「日銀春休み親子見学会」の開催（「日銀夏休み子ども特別見学会」のご案内）

▼日本銀行本店では、三月

二十七日～二十九日の三日間にわたり、小学校四～六年生および中学生のお子さまとその保護者の方を対象に、「春休み親子見学会二〇一八」を開催しました。今回は、合計一二九組二七八名の皆さまにご参加いただきました。

▼見学会では、本店見学やお札に施されている偽造防止技術の



お札の「すかし」を確認する様子

本物と同じ一億円の重さを体験（左）。記念撮影用の顔出しパネル（下）



紹介、一億円の重さ体験やお札の数え方体験などのプログラムにご参加いただき、日銀やお金について楽しみながら学んでいただきました。見学者の方からは「お金の大切さについて親子で学ぶ良い機会となった」などの感想が寄せられました。

▼毎回好評をいただいております親子見学会の次回の開催は、夏休み期間中の八月六日～十日を予定しています。



▼「日銀ってなにをしているところ？」というお子さまの好奇心にお応えできるようなプログラムをご用意しております。

▼参加は無料です。お申し込み方法などの詳細は日銀HPをご覧ください。皆さまの越えしを心よりお待ちしております。



「第一四回 日銀グランプリ」 「キャンパスからの提言」 論文募集

応募締切：九月三十日（日）

▼「日銀グランプリ」は、学生の皆さんを対象に開催する金融・経済分野の論文・プレゼンテーションコンテストです。学生の皆さんが金融・経済に関心を持ち、わが国の金融の現状と将来について考えていただく場として、二〇〇五年度から毎年開催しており、今年度も応募論文を募集中です。

▼テーマは「わが国の金融・経済への提言」です。わが国の金融・経済に関するものであれば、どのようにテーマを設定していただいても構いません。

▼書類審査を通過したチームは、十一月下旬頃に予定している決勝大会において、日銀副総裁をはじめとする政策委員会メンバー、外部有識者の方を審査員

編集後記

■5月7日をもって情報サービス局長を退任し、本号の編集が編集長としての最後の仕事となりました。この約2年間、読書の皆さまに、広く日本銀行へ親しみを感じていただきたいとの思いで、9号分の編集に携わってまいりました。ご愛読いただきまして誠にありがとうございました。今後とも、新編集長の下での「にちぎん」をどうぞよろしく願いいたします。

(鶴海)

■このたび編集長に就任しました。日本銀行に入行して29年目となりますが、これまでは主に金融モニタリングや国際関係の仕事に携わってきました。広報誌「にちぎん」については、愛読者の一人から初めて作成する側に立場が変わりますが、新しい視点なども取り入れながら、引き続き日本銀行の活動をわかりやすく紹介していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

(中川)

※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

(http://www.boj.or.jp/announcements/koho_nichigin/index.htm/)

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解については、日本銀行ホームページ (<http://www.boj.or.jp/>) をご覧ください。

にちぎん 2018年夏号
編集・発行人 中川 忍
発行 日本銀行情報サービス局
〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町 2-1-1
☎ 03-3277-2405



デザイン 株式会社市川事務所
印刷 株式会社アイネット
©日本銀行情報サービス局 禁無断転載

に迎え、プレゼンテーション・質疑応答を行っていただきます。

▼当グランプリでは、Webページを設けて、募集要項や、過去の決勝進出チームの論文・プレゼンテーション資料、審査員講評のほか、奨励賞論文の要旨も掲載しています。また、過去の決勝大会の様相を収録した動画も配信しています。

▼応募に当たっては、日銀グランプリWebページ上の募集要項をお読みください。多くの学

生の皆さんからの斬新な提言をお待ちしております。

(日銀グランプリWebページアドレスはhttp://www.boj.or.jp/announcements/nichigin_gp/index.htm/)

【日銀グランプリのお問い合わせ先】
日本銀行情報サービス局
総務企画グループ
〇三・三三二七七・一六〇九



第14回
日銀グランプリ
キャンパスからの提言

学生のための小論文・プレゼンテーションコンテスト

課題「わが国の金融・経済への提言」

日銀グランプリは、日本銀行が毎年開催している、学生を主に対象とした金融・経済分野の小論文・プレゼンテーションのコンテストです。多くの皆さんのご応募をお待ちしています！

応募資格 現在、大学(短大等を含む)に在籍の方(大学院生は除く)、2~4名1組のグループでご応募ください。

授賞内容 最優秀賞/1チーム(副賞:図書カード15万円)
優秀賞/2チーム(副賞:図書カード3万円)
特別賞/1チーム(副賞:図書カード3万円)

※応募の詳細は最新の募集要項および日本銀行ホームページをご覧ください。

<http://www.boj.or.jp/>

締切 9/30 必着 主催 日本銀行